

■ 銘柄: Energy ■

氏名: 越村 朋弘

## オカメ相場売るべからず



### ■ コメント ■

本日の東京ガソリン市場は、新甫限月となる1月限が49,890円で終了。手前12月限は前日比+1,440円の49,510円で終了となっている。  
NY原油の急反発を受け、原油・製品ともに買いが先行した。その後もNY夜間の上昇と、ドル/円の上昇を背景に一段高となる。

上ザヤ発会となったことにより、ガソリンは純鞘・逆鞘のどちらでもなく、期中に対して当限・先限が高いU字型のいわゆる「おかめザヤ」となっている。相場格言に従うのであれば、それは「売りなし」ということになる。ただ、高値は49,990円と50,000円に10円及ばず、追隨した上値追いには幾分警戒をするような動きでもあった。週末取引であったこともそうだが、やはり先行きの需要増加に対し、懐疑的な見方は払拭されずといったところか。

チャートは移動平均(25日)の上に乗せ、転換線(赤)のブレイクも確認できた。相対力指数はダウントレンドからの切り返しを演じ、ストキャスティクスはここから本格的なアップトレンド形成に向けた動きと思える。

オカメに頼らずとも、幾つものツールが上昇を明示しており、強気買いのスタンスで来週も臨みたい。目先は6/12に付けた年初来高値となる53,250円を狙う展開となろう。

### ■ テクニカル ■

移動平均(25MA)	49,036円
移動平均(50MA)	46,088円
STC(%D)	29.67%
STC(Slow%D)	16.40%
RSI(9)	53.75%

### 商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。

詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている『取引の重要事項』をご確認ください。